



おとふけ

社協だより

No. 149

発行 社会福祉法人 音更町社会福祉協議会 音更町大通 11 丁目 1 番地 ☎ 42-2400
E-mail : otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jp
HP : http://otofuke-shakyo.jp

令和 3 年 6 月 25 日



令和3年度の柏寿地域農園参加者と子育てサロンおとふけ通りくるみの皆様での集合写真

※柏寿地域農園については、P10に掲載

“福祉まつりinおとふけ”の中止について

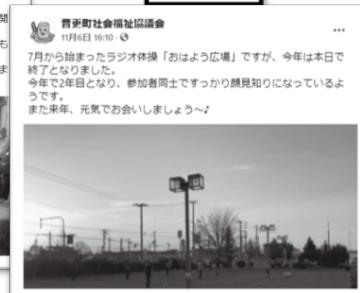
例年7月に開催しております「福祉まつりinおとふけ」につきましては、誠に残念ですが、現在の情勢を踏まえ、昨年度に引き続き、今年度も開催を中止とさせていただきます。



Facebook 更新中

本会で実施する事業や町民主体の活動について情報発信しています。ぜひご覧ください！

スマートフォンの方はこちらから！



この社協だよりは、赤い羽根共同募金助成金が使われています。



令和3年度 社協の事業について

令和3年度は、昭和26年9月28日に音更町社会福祉協議会が創立されてから70周年にあたります。

新型コロナウイルス感染症が発生してから、既存の事業の中止や規模の縮小が続いており、昨年度に計画をしていた「地域福祉実践計画の策定」についても、1年遅れての着手となりますが、このような状況だからこそ、社会福祉協議会として出来ることを十分に検討してまいります。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

社協会員の加入促進

町内会及び社協推進員の皆様のご協力により、町民の皆様へ理解を求め、会員の加入促進に取り組めます。

社協だより・ホームページ等による周知

年4回発行する「おとふけ社協だより」と社会福祉協議会ホームページ、昨年度に開設したFacebookにより社会福祉協議会の活動状況やボランティアの情報等を発信しています。

ホームページアドレス <http://otofuke-shakyo.jp/>



老人クラブ連合会事務局業務

役員会の開催、単位老人クラブへの支援、各種研修や大会の運営等、老人クラブの活動推進に努めます。

生活支援体制整備事業

生活支援コーディネーターの配置及び協議体を設置し、各種事業を推進しながら地域包括ケアシステムの構築に取り組みます。

①地域交流サロン活動の普及促進

住み慣れた地域で「生きがいづくり」「健康づくり」のために行われる「地域交流サロン活動」を普及促進します。また活動に係る経費の助成、傷害保険の加入を行います。

②地域住民のニーズ把握

住民座談会や出前講座を通して、地域住民のニーズ把握に努めます。

③協議体の運営及び住民向け講演会の開催

地域の多様な主体がメンバーとなり、より良いまちづくりを目指した協議を進めるとともに、住民理解を深めるための講演会を開催します。

④地域農園事業(新規)

生活の基盤となる身近な地域において、農作業を通じて外出の機会、社会参加の場を創出し、参加者同士の「支え合い」の関係構築を目指し、他の社会福祉法人との共催により実施します。

ボランティアセンター事業

①ボランティアセンターの運営

ボランティアに関する情報提供体制を整備するとともに、安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア関連の保険窓口業務、活動の需給調整等を行い支援します。

②災害ボランティアセンターの設置運営準備

有事の際の災害ボランティアセンターの設置に向け、北海道社会福祉協議会との共催による「災害ボランティア養成」等の研修会を行います。

※研修会の開催時期については今後の新型コロナウイルスの収束状況により判断します。

③おとふけ生きいきポイント事業

町内に住所を有する65歳以上の方が町長の指定する福祉施設等でボランティア活動を行うことにより、ポイントが付き、貯めたポイントに応じて換金することが出来ます。

※研修会の開催時期については今後の新型コロナウイルスの収束状況により判断します。

④ふまねっと活動の普及促進

高齢者の歩行機能の改善や認知症の予防等に効果が期待されている「ふまねっと」という道具を用いた活動に、地域全体で取り組んでいただけるよう支援します。

「ふまねっと」の無料貸出しも行っています。

歳末ふれあい事業【新規】

歳末たすけあい運動における募金をもとに、一人暮らし高齢者等を対象に、コロナ禍の状況を考慮しながら様々なツールを活用した交流事業を企画・実施します。

福祉用具の貸出

介護保険等の福祉制度が適用されない町民に対し、車いすをはじめとした在宅で生活するうえで必要となる福祉用具を一時的に貸出します。

ひとり親家庭支援事業

歳末たすけあい募金をもととして、民生委員の協力を得ながら、18歳以下(高校3年生まで)のお子様を養育しているひとり親のご家庭へ、年末に図書カードを配布いたします。

喫茶はっぴい～事業

総合福祉センターにて、ボランティア、地域住民の交流の場、また障がい者の社会参加の場として運営します。



※新型コロナウイルス感染症拡大を受け、当面営業時間を変更する場合があります。

<喫茶はっぴい～営業時間>

月曜日～金曜日(祝日及び第3月曜日除く)
午前10時30分～午後2時00分
軽食・各種ドリンク類を提供しております

認知症カフェ事業(オレンジはっぴい～)

「喫茶はっぴい～」を会場に、認知症の方と家族、地域住民、専門職等、誰もが気軽に参加することが出来る場。お茶を飲みながらリラックスした雰囲気の中で交流や介護相談等を行います。

※開催時期については今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況により判断します。

音更町高齢者ふれあいの家支援事業

「誰もが気軽に集まれる交流の場」「地域の身近な小さな拠点」「住民が主体の運営」を基本とし、空き

家を活用した交流の場の設置運営に係る費用の一部を助成します。

帯広大谷短期大学との連携事業

①本会事業との連携

本会で実施している各種事業に学生に参加協力いただき、参加者との交流を深めていただくほか、事業に応じて企画の段階から短大と協議しながら進めます。

②福祉学習の推進強化

子どもたちに福祉や障がい、ボランティアに対する理解促進を図るため、短大と協働で作成した「福祉の学習支援プログラム」を基に福祉の学習を推進します。

③学生サロン「元気」の再開

学生が主体となり企画・実施する地域交流サロンをオンラインで開催します。

権利擁護事業

①日常生活自立支援事業

認知症や障がい等により、判断能力が十分でない方に対し、福祉サービスの利用手続き援助や日常的な金銭管理等の支援を行います。

②音更町成年後見サポートセンター事業

音更町より委託を受け、成年後見制度の啓発や相談に応じるほか、市民後見人養成研修修了生に対するフォローアップも行います。その他、新規の市民後見人の養成研修会の開催及び権利擁護支援の中核となる機関として、地域連携ネットワークの構築に努めます。

③法人後見事業

家庭裁判所からの選任を受け、社会福祉協議会が成年後見人等になり、法人後見支援員との協働により、被後見人の身上監護や財産管理事務等を行います。

コミュニティーサポート事業

①コミュニティーサポーターの養成

「誰もが安心して暮らし続けられる地域づくり」の一環として地域で活動していただくコミュニティーサポーターの養成講座を開催します。

②見守り訪問事業

在宅で生活をしている認知症の症状がある方を対象に、研修を修了した「コミュニティーサポーター」が、

話し相手や介護者不在時の留守番、本人との趣味活動等の見守り支援を行います。

③あんしんお預かり事業

何らかの理由により一時的に生活を維持する為の払い戻しや支払いが出来ない状態になり、他に適切な支援者が不在の場合、利用希望者との契約により通帳の預かりや入出金の支援代行をします。

④緊急時安否確認(鍵預かり)事業【モデル事業】

申請により登録したひとり暮らしの高齢者の自宅の鍵を預かり、コミュニティサポーターや地域の関係者の協力のもと見守り活動を行ないます。

緊急時には、関係機関との連携により入室し安否確認を行ないます。

生活支援事業

①生活福祉資金貸付事業

北海道社会福祉協議会より委託を受け、収入が少なく必要な資金の融資を他から受ける事が困難な世帯や、障がい者、高齢者のいる世帯の生活安定、向上を図ることを目的に様々な貸付資金の相談窓口となります。↗

↗併せて令和2年3月25日からは新型コロナウイルス感染症に係る特例貸付(緊急小口資金及び総合支援資金)の受付を行っています。

②生活困窮者に対する安心サポート事業

北海道社会福祉協議会との協働により、制度の狭間の生活困窮などの様々な課題を抱える方に対し、自立相談支援機関等の関係機関と連携し、概ね3万円を限度とした経済的援助を現物で給付します。

③応急生活資金貸付事業

生活保護世帯等が生活に緊急を要する際、小口資金の貸付を行います。

高齢者就労センター

町内在住の概ね60歳以上で健康な方に様々なお仕事を紹介します。

男性、女性、資格や免許に応じ、会員登録者に適した就労の場を確保します。



..... 高齢者就労センター会員を募集しています

公共業務(草取り・草刈・資源ごみ収集作業等)や各ご家庭から引き受けたお仕事を、会員の方に紹介します。まずはお問い合わせください。

■原則として町内在住の概ね60歳以上の健康な方であれば会員登録できます。

■知識や経験・技術に見合った内容のお仕事を紹介します。

■働いた内容に応じ、毎月決められた日に配分金が支払われます。

(主な作業内容) ●屋内外作業(草刈・草取り・庭木選定・室内清掃等)

※特に草刈、草取り作業をしていただける方を募集しています。

●農作業(芋・ビート等の収穫支援)

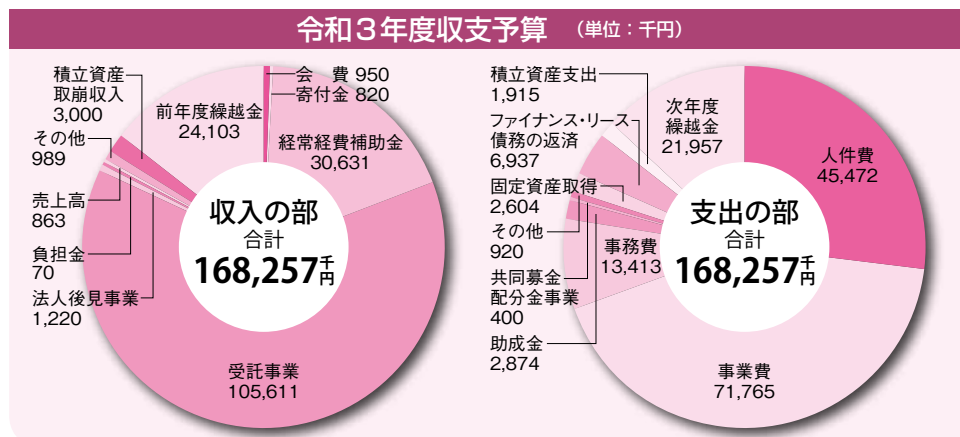
●事務作業(封筒や賞状のあて名書き等)

●資源ごみ収集作業 ・町内の各家庭から排出される資源ごみを収集します。

・1班3人体制の交代勤務です。(1日6時間・月11日程度の勤務です。)

高齢者就労センター ☎0155-42-3335 / リサイクルセンター(資源ごみ収集作業) ☎0155-42-1002

令和3年度収支予算 (単位:千円)



令和2年度 事業報告

令和2年度実施事業について以下のとおり報告します。

なお、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた幾つかの事業を中止とさせていただきます。

地域福祉部門

□生活支援体制整備事業

- I. ふまねっと活動の普及促進
- ・延教室開催数 18回
 - ・延サポーター参加数 44名
 - ・延参加人数 337名
 - ・延ネット使用数 33本
 - ・ふまねっとサポーター連絡会(7月29日) 15名参加
- II. 地域交流サロン活動の普及促進
- ・町内22か所のサロンを後援
 - ・広報活動、傷害保険の加入、活動費の助成等
- III. 協議体の運営及び住民主体の地域福祉活動の推進
- ・協議体関係会議 1回開催
 - ・地域でのラジオ体操を後援 2か所

□ボランティアセンター事業

- I. ボランティア登録及び調整状況
- ・個人ボランティア登録数 28名
 - ・団体ボランティア登録数 36団体(488名)
 - ・ボランティア派遣調整数 0回
- II. 災害ボランティアの養成
- ・災害ボランティア養成講座 中止
- III. おとふけ生きいきポイント事業
- ・事業説明及び登録研修会 中止
 - ・事業登録者(ポイント手帳交付) 140名
 - ・受入機関 町内54事業所(社会福祉協議会を含む)

□ひとり暮らし会食交流事業 中止

□福祉まつりinおとふけ 中止

□福祉用具の貸出

- ・車いす 24回貸出
- ・ポータブルトイレ 1回貸出

□ひとり親家庭支援事業

- ・163世帯(276名)へ図書カードを配布

□喫茶はっぴい〜事業

- ・営業日数 189日(4月上旬から5月末まで休業)
- ・ボランティア延人数 205名
- ・障がい者受入延人数 212名

□認知症カフェ事業

- (オレンジはっぴい〜)
中止

□帯広大谷短期大学との連携

- ・学生サロン「元気」の企画運営 中止
- ・福祉の学習の推進強化(町内小学校)

生活福祉支援部門

□権利擁護事業

- I. 日常生活自立支援事業
- ・生活支援員登録数 17名
 - ・サービス利用者 3名
- II. 音更町成年後見サポートセンター事業
- ・成年後見講演会(市民後見人養成研修事前説明) 中止
 - ・市民後見人養成研修(全7日) 9名参加
 - ・法人後見支援員情報交換会(7月8日) 6名参加
 - ・市民後見人フォローアップ研修(10月21日) 16名参加
 - ・相談実績43件(新規24件・継続19件)
- III. 法人後見事業
- ・受任件数 令和2年度末 5件(継続8件・終了3件)
- IV. コミュニティサポート事業
- ・コミュニティサポーター養成講座(10月21日) 34名参加
 - ・見守り訪問事業 受任件数 2件
 - ・あんしんお預かり事業 受任件数 2件
 - ・緊急時安否確認(鍵預かり)事業(モデル事業) 受任件数 1件

□生活支援事業

- I. 生活福祉資金貸付事業
- ・緊急小口資金(本則) 7件
 - ・総合支援資金(生活支援費) 1件
 - ・福祉資金福祉費 1件
 - ・教育支援資金 1件
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う特例緊急小口資金 200件
 - ・新型コロナウイルス感染症に伴う特例総合支援資金 186件
- II. 生活困窮者に対する安心サポート事業
- ・支援件数 3件
- III. 応急生活資金貸付事業
- ・貸付件数 28件

高齢者就労センター部門

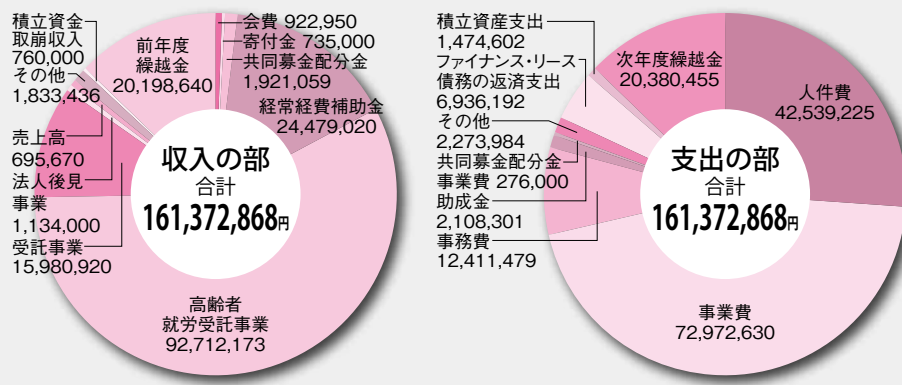
□公共業務

年間就労延人員 延6,703名 受託件数 21件

□民間業務

年間就労延人員 延4,661名 受託件数 1,396件

令和2年度収支決算 (単位：円)



令和2年度社会福祉協議会会費納入報告

令和2年度社協会費につきましては、多くの皆様からご協力いただき、ありがとうございました。ご協力いただいた社協会費をここで報告させていただきます。

世帯会員

(網掛けは町内会からの一括納入含む)

町内会名	金額(円)	件数(件)
東平和	2,600	
南中新政	2,400	
富士	2,400	
稲穂	13,000	1
宝来第1	7,000	
宝来第2	3,000	
宝来第4	3,000	1
ひびき野西町第1	7,150	
ひびき野仲町2丁目	5,000	
ひびき野東町2丁目	5,000	
北宝来1	40,000	22
東旭	4,000	
旭	4,200	
北昭和	3,200	
東昭和	3,000	
中昭和	3,600	
昭和	2,000	
共和	1,800	
東昭栄	3,600	
昭栄	6,500	
北明	12,600	
新生	33,000	1
双葉	6,000	
三交	3,400	
にこにこ	6,400	
桜が丘	13,500	
桜が丘西	10,000	
北陽台	11,400	
柏寿台	3,000	
雄飛が丘南区第1	10,000	1

町内会名	金額(円)	件数(件)
雄飛が丘南区第3	11,000	1
雄飛が丘仲区第1	13,000	
雄飛が丘仲区第2	10,000	
雄飛が丘北	29,600	32
雄飛が丘中央団地	14,000	
六新	12,400	
七福	8,800	
新緑	2,400	
東栄南	10,400	1
泉	7,000	
新泉	5,000	
若葉	13,400	
北花園	27,400	
花園	14,000	
緑が丘	5,600	
東住吉	31,000	17
開進	11,000	1
楓	10,000	
柳町北	2,000	1
柳町南区東	10,000	
柳町南区西	400	2
緑陽台北区第1	10,000	
緑陽台北区第2	1,000	1
共栄	25,500	
緑街	20,000	
共栄高台	10,000	
共栄台南	2,000	
共栄台東	8,100	1
緑陽	45,000	
木野5	10,800	54

町内会名	金額(円)	件数(件)
木野7	10,000	
木野西11	13,000	
木野新町	10,000	
千隆	9,000	
青葉	10,000	
中鈴蘭	10,000	
北蘭東	200	1
北蘭西	30,000	
清和	1,000	1
鈴蘭	6,400	
鈴蘭公園通	3,400	
然別	7,200	
大和	1,800	
東土狩	5,000	
矢部	5,000	
鎮鍊	3,800	
上然別	5,000	
北上	1,800	
北栄	1,000	
誉	3,200	
牧場	3,800	
北駒場	3,800	
東中音更	7,000	
光和	2,000	1
西大牧	800	
友進	2,200	
牧	2,000	
町外納入	1,000	1

賛助会員

会社名	金額(円)
音更町農業協同組合	30,000
泰源寺	30,000
南笹本燃料店	20,000
木野農業協同組合	10,000
向平健康堂薬局	10,000
おとふけ調剤薬局	10,000
光明寺	10,000

会社名	金額(円)
宝来中央歯科	10,000
(株)のむら葬祭	5,000
帯広保安資材	4,000
水口印刷	2,000
帯広大谷短期大学	2,000
帯広信音音更支店	2,000
(株)本別システム	2,000

会社名	金額(円)
(有)川上工業	2,000
三菱ふそうトラック・バス(株)北海道ふそう帯広支店	2,000

会費納入合計額

922,950円

世帯会員 771,950円
賛助会員 151,000円

社協の活動は皆さまの会費によって 支えられています

社会福祉協議会（以下「社協」）は、地域の皆さまに支えられた民間の福祉団体です。地域の皆様のお力を活かしながら、誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指し、地域福祉を推進する役割を担っています。

行政による法律に基づいた福祉施策とは違い、住民主体の地域福祉活動の実施のため、社協会費への協力をお願いしています。

社協の財源は どうなっ ているの？

- ・音更町や北海道社会福祉協議会からの補助金・委託金
- ・社会福祉協議会会員からの会費
- ・共同募金からの配分金
- ・地域の皆さまからの寄付金
- ・高齢者就労センターや喫茶事業による収益

社協事業の自主性を高めるために
自主財源の確保が重要になります

- | | | |
|-------------------------------|----|--------|
| <input type="checkbox"/> 世帯会員 | 一口 | 200円 |
| <input type="checkbox"/> 賛助会員 | 一口 | 2,000円 |
- （社会福祉施設、福祉団体、会社等）

▶▶ 納入方法

■現金をご持参いただく場合

社協事務局（音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内）にて受付いたします。
（平日 午前8時45分～午後5時30分）

■口座でお振込みの場合

音更町農協、木野農協のそれぞれに専用の振込用紙を用意しております。

※各町内会長より推薦をいただいております「社会福祉協議会推進員」がご家庭を訪問し、会員加入の協力をお願いする場合がございます。

音更町社会福祉協議会の会員加入促進に対し、各町内会において活動いただいている「社会福祉協議会推進員」について、今年度もそれぞれの町内会長様よりご推薦をいただいておりますが、この度の新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、例年7月に行っております「推進員会議」については開催を中止とさせていただきます。

問い合わせ：音更町社会福祉協議会 総務係 ☎0155-42-2400

令和3年度 市民後見人養成研修

受講生
募集!

音更町では、認知症や知的・精神障がい等により判断能力が十分ではない人の権利を守るため、財産管理や日常生活でのさまざまな契約等の後見業務を行うことができる知識・技量を備えた「市民後見人」を養成する研修を開催します。

なお、市民後見人として活動するためには原則、養成研修のすべての講義を受講することが必要です。

- **日 程** 令和3年8月5日(木)～令和3年9月30日(木)の毎週木曜日
13時30分～17時00分 (8月12日、9月23日は除く) 予定
※詳細は右記「音更町市民後見人養成研修カリキュラム」のとおり
- **会 場** 音更町総合福祉センター (音更町大通11丁目1番地)
- **内 容** ※別紙「令和3年度 音更町市民後見人養成研修受講者募集要項」のとおり
- **対 象** ①研修終了予定日において、満25歳以上で、現に音更町に居住する者
②これまでに未成年後見人、成年後見人、保佐人、補助人を解任されたことがない者
③破産していない者
④音更町市民後見人養成研修を修了されていない者
⑤原則としてすべての研修カリキュラムを受講できる見込みがある者
- **受講料** 無料 但し、教科書代 (2,277円) 受講者負担
- **募集期間** 令和3年7月1日(木)～令和3年7月20日(火) 必着
- **定 員** 15名 (申込先着順で、定員になり次第、締切らせていただきます。)
- **申込方法** 別紙「市民後見人養成研修受講申込書」に必要事項を記載し写真(縦3cm×横2.5cm、裏面に記名)を貼付したものを、音更町社会福祉協議会まで郵送又はご持参下さい。
※募集要項、申込書等は、音更町社会福祉協議会窓口・ホームページまたは、町内コミセンなどで取得できます。
- **その 他** 全カリキュラムを修了した方には修了証が発行されます。
※新型コロナウイルス感染状況により、延期、中止となる場合がございます。
※募集期間終了後、希望受講者が8名以下の場合には、次年度開催となります。

----- 申込・問合せ先 -----
社会福祉法人音更町社会福祉協議会 (ホームページ <http://otofuke-shakyo.jp/>)
〒080-0101 音更町大通11丁目1番地 音更町総合福祉センター内
電話 0155-42-2400



令和3年度 音更町市民後見人養成研修カリキュラム

会場：音更町総合福祉センター 1階 中集会室

回	月・日	曜日	時間帯	単位	分	研修内容	講師	
第1回	8/5	木	1	13:30~13:50		開講式		
			2	13:50~15:50	2	120	市民後見概論	社会福祉士 宮澤 英雄氏
			3	16:00~17:00	1	60	権利擁護の理念	
第2回	8/19	木	4	13:30~14:30	1	60	民法(財産法・家族法)	弁護士 岩崎 優子氏
			5	14:40~15:40	1	60	成年後見制度概論Ⅰ(法定後見)	
			6	15:50~16:50	1	60	成年後見制度概論Ⅱ(任意後見)	
第3回	8/26	木	7	13:30~14:30	1	60	認知症の理解	帯広大谷短期大学 小林 聖恵氏
			8	14:40~16:50	2	120	対人援助の基礎	帯広大谷短期大学 佐藤 英晶氏
第4回	9/2	木	9	13:30~14:30	1	60	後見実務Ⅰ(申立て)	司法書士 遠藤 豊和氏
			10	14:40~15:40	1	60	後見実務Ⅱ(報告)	
			11	15:50~16:50	1	60	後見実務Ⅲ(終了)	
第5回	9/9	木	12	13:30~14:00	0.5	30	地域包括支援センターの役割	町保健福祉部高齢者福祉課 包括支援係 介護保険係
			13	14:00~14:30	0.5	30	介護保険制度	
			14	14:40~15:10	0.5	30	生活保護制度	町保健福祉部福祉課 福祉係 障がい福祉係
			15	15:10~15:40	0.5	30	障がい者施策	
			16	15:50~16:50	1	60	障がいの理解	
第6回	9/16	木	17	13:30~14:30	1	60	家庭裁判所の機能と役割	釧路地方家庭裁判所帯広支部
			18	14:40~15:40	1	60	社会福祉協議会とは	音更町社会福祉協議会
			19	15:50~16:50	1	60	日常生活自立支援事業とは	
			受講申込時	1		レポート	エントリーシート	
			研修最終日	2			市民後見人像	
第7回	9/30	木		13:30~14:00	0.5	30	受講生スピーチ	受講生
				14:10~15:10	1	60	今後の活動と心構え (法人後見支援員の登録と活動)	音更町社会福祉協議会
				15:20~16:20	1	60	実践報告	支援員
				16:30~			閉講式	

住民同士の支え合いの仕組みづくり

高齢化が進む中、医療・介護の負担はどんどん増えていき、これまで以上に地域の中の支え合いの仕組みが重要になってきます。

その前提として支え合いの関係づくりのために人が集まり交流する場が必要となりますが、コロナ禍では、これまで行われてきた地域交流サロンや老人クラブ、町内会などさまざまな集まりが困難な状況となりました。コロナ禍でも、感染予防対策を講じながらの活動が少しずつですが行われていますので紹介します。

柏寿地域農園開設！

農作業を通じた外出の機会、社会参加の場となることを目的として地域農園事業を計画していたところ、音更町柏寿協会から賛同いただき、音更町柏寿協会の敷地内の畑をお借りできることとなりました(^^)。

令和3年度は一般町民と施設入所者の16人に参加いただき、屋外で作業をしながら交流できる機会となっています。



音更高校元教員で農作業経験豊かな平田松征さんのご指導のもと作業を行っています！

音更町柏寿協会から約360㎡の畑をお借りしています！

この日は、「子育てサロンおとづけ通りくるみ」から小さなお子さんも参加し、大根の種を蒔いてくれました♪



ラジオ体操活動開始3年目♪

令和元年から始まった住民有志のラジオ体操の会（本会は後援）も、今年で3年目を迎えました。コロナ禍でも三密を避けて行える活動のため、昨年も実施しました。

※今年は5月の連休明けからスタートしましたが、5月16日からの緊急事態宣言によって休止中です（5月末現在）。コロナウイルス感染状況を見ながら活動再開予定ですので、参加したい方は本会までお問い合わせください。



Zoomを
使ってみたい
という方

大歓迎!



「操作がわからないという方」



準備や操作にあたり必要があれば、本会職員がお手伝いしますのでご安心ください(^^)

地域交流サロン研修会開催の案内

令和3年度

町内の地域交流サロン関係者や興味のある方が情報交換をすることでサロン同士のつながりや活動の活性化を図ることを目的に地域交流サロン研修会を開催しています。

コロナ禍で「リモート」や「オンライン」という言葉を耳にすることが増えてきましたが、実際に使ったことがない。よくわからないという人も多いと思います。

今回は、帯広大谷短期大学の学生が「Zoom」を使ってできる楽しい企画を計画中です。コロナ禍でも可能な新しいつながり方を体験してみませんか？

内 容

①情報交換：町内地域交流サロンの開催状況等について情報交換

②研 修：『「オンライン」「リモート」ってなに？（仮）』

（講師：帯広大谷短期大学 社会福祉科 介護福祉専攻 学生の皆さんがZoomで参加）

日 時 令和3年7月13日（火） 13:30～15:00

場 所 Zoom利用可能な方：自宅から

Zoom利用難しい方：音更町総合福祉センター大集会室

対象者

- ・地域交流サロン世話人及び参加者
- ・地域交流サロンに興味関心のある方
- ・Zoomの利用に興味のある方

参加費 無料 **定 員** 30名

スマホを
持ってない方でも！
総合福祉センターの会場で
参加可能です♪

申 込

①氏名、②住所、③電話番号

上記をご記入の上、otofuke-shakyo@rainbow.plala.or.jpまでメールをお送りください。

お電話での申し込みの場合は、音更町社会福祉協議会（0155-42-2400）までお問い合わせください。

【雑巾づくり】

使用済みタオルなどで雑巾づくり。手縫いでもミシン縫いでも構いません。

【ウエスづくり】

使用済みのタオル、バスタオル、タオルケット、Tシャツなどを切ってウエスにします。大きさはだいたい横25センチ縦15センチ位です。



【寄付金・募金】

新型コロナウイルスの発生により町内の福祉施設等ではボランティア活動を制限しているためボランティアさんの活動する場がなくなっています。そこで、自宅でもできるボランティアをご紹介します。

活動にて集めたもの、作ったものは社会福祉協議会にお持ちください。町内の福祉施設または団体にお渡しします。

(生きいきポイント手帳をお持ちの方はポイントをおつけします)

【未使用タオル・バスタオル】

未使用（新品）タオル・バスタオルの寄付



でもできる



お家 ボランティア



【お手紙ボランティア～福祉施設に入居している方にお手紙を送りましょう！】

コロナ禍においても人とのつながりを大切にしていきたいと思っている方、家族やお友達とゆっくり面会ができなく寂しい思いをしている方に元気を出してもらえるようにお手紙を書いてみましょう。ハガキでも便箋でも構いません。文章だけでも絵手紙でもなんでもOKです。心がほっこりするようなお手紙を待っています。

お手紙は音更町社会福祉協議会が責任を持って福祉施設へお届けします。



【収集ボランティア】

リングプル、使用済みまたは未使用の切手、テレカ、書き損じはがき、未使用はがき、ベルマークを集める。

- リングプル～たくさん集めて車いすに交換
- 使用済み切手・テレカ～ユニセフなどに送ると団体が収集家を通して換金し、得たお金は活動資金などに使用。
- 未使用切手・はがき～福祉団体の郵送物に使用
- 書き損じはがき～郵便局にて切手に交換し郵送物に使用

～お願い～使用済み切手は封筒やはがきから切り取る際には、切手のまわりは1センチ程度の余白を取り、消印も残して切ってください。



老人クラブ連合会事務局からのお知らせ

●令和3年度音更町老人クラブ連合会総会

令和3年度の音更町老人クラブ連合会総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を勘案し、書面評決で実施。議案等が承認されました。

ただし、今年度予定している各事業については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況やワクチン接種進捗状況などを鑑みて、その都度、検討していく予定です。

音更老人クラブ 組織の現況

(令和3年4月現在)

- ・単位老人クラブ：50
- ・会員：3,231名

●役員改選

令和3年度は役員の改選期でした。町内の単位老人クラブから新たに24名の役員が選出されました。任期は2年後の総会終了時までとなります。新たに就任した宮浦 豊会長(木野5区長生会老人クラブ)のもと、理事を含め半数が新任となりますが、単位老人クラブのご理解ご協力をいただきながら、新体制で事業を進めてまいります。

～毎年ありがとうございます～

音更町総合福祉センター正面の花壇を「中央福寿会」「南部福寿会」「東部福寿会」の3老人クラブの皆様が、南側の花壇を「音更町手をつなぐ育成会」の皆様が整備してくださいました。毎年、綺麗な花を植えていただき、職員一同感謝いたします。ありがとうございます。



中央・南部・東部福寿会3つの老人クラブの皆様



音更町手をつなぐ育成会の皆様

* ご厚志ありがとうございました * 令和3年3月1日~令和3年5月31日

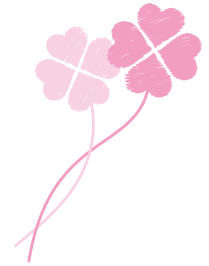
預託されました浄財を紹介いたします。 預託された浄財は配分先において有効に活用させていただきます。

社会福祉協議会の行っています各種事業は、会員皆様の会費と寄付金等を主な財源としております。今後とも会員加入とご寄付につきまして、ご支援ご協力いただきたく、宜しくお願い申し上げます。

◎金 銭

(敬称略)

寄 付 者 氏 名	寄付金(円)	寄 付 金 使 途
音更文化連盟	30,000	社協事業へ
山本 格郎	100,000	
山本 慎紗子	100,000	
匿名	10,000	
匿名	5,000	みんなでラジオ体操



◎物 品

(敬称略)

預託品名	預託者氏名	数 量	預託先
リングプル	JAボランティア菜の花	5.8kg	プルネット
	下音更中学校生徒会	50kg	
	小見山 節子	30kg	
	国際ソロプチミストおとふけ	4kg	
	十勝ぶただん	1kg	
使用済み切手	(株)大成塗装工業	数量不明	北海道ユニセフ
	音更町ブルースカイ	559枚	
	JAボランティア菜の花	1,593枚	
	国際ソロプチミストおとふけ	6,909枚	
使用済みテレホンカード	JAボランティア菜の花	25枚	
非接触型体温計	(株)向平健康堂薬局	1台	リサイクルセンター事業
手拭き用ペーパータオル	(株)向平健康堂薬局	10個	
ベルマーク	高野 辰夫	数量不明	西中音更小学校
	匿名	数量不明	
タオル類・ウエス	音更ライオンズクラブ	243枚	町内福祉施設
	佐藤 学	約70枚	
	音更町商工会女性部	342枚	
	JAボランティア菜の花	99枚	
	国際ソロプチミストおとふけ	35枚	
	匿名	数量不明	
マスク	ひびき野東町2丁目町内会	7箱	
	匿名	数量不明	
布マスク	ひびき野東町2丁目町内会	81枚	
消毒液	ひびき野東町2丁目町内会	21本	リサイクルセンター事業
	(株)向平健康堂薬局	5本	
米	匿名	30kg	喫茶はっぴい~他



(株)向平健康堂薬局様からコロナ対策の品々をいただきました。



就任のごあいさつ

常務理事・事務局長 石川 満

長年、本会の運営・事業推進にご尽力されてきた常務理事・事務局長の徳本勝則さんが、令和2年度末をもってご勇退されました。

この度、ご縁をいただき、後任として本年4月1日付で選任いただいた石川 満と申します。出生地は帯広。音更小学校を最後に37年間の教職生活を終え、2年間音更町教育委員会で勤務していました。3人の子供は独立し、現在は妻と愛犬の3人(?)暮らし。62歳。

近年、少子高齢化や社会的な孤立の問題、コロナ禍によって一層厳しさを増す経済的困窮の問題など、様々な問題が顕在しています。

私自身、福祉教育の経験はあるものの、地域福祉については浅学の身。一つ一つ学びながら、微力ではありますが、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりのために精一杯努めてまいり所存です。皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

住民参加の地域づくりシンポジウム

少子高齢化が進み、地域の中で複雑な課題や一人ひとりの生活も多様化するなか、より地域住民の主体的な支え合いを育み、地域づくりをともに進めていく社会が求められています。

本町で取り組まれている活動を通して、一人ひとりが住む地域について主体的に考えるきっかけとなればと思います。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

地域づくりに関わりたい！
でも、地域づくりってなに？

今後のために
知っておきたい！



地域の取り組みが
知りたい!!

役に立ちたい!

プログラム

13:30 開会

13:35~14:20(45分)

基調講演

「地域で暮らし続けるために必要なこと」

帯広大谷短期大学 社会福祉科 教授 佐藤 英晶氏

14:20~15:20(60分)

パネルディスカッション

「新たな支え合い活動について」

〈パネリスト〉

- ・コミュニティサポーター
 - ・法人後見支援員
 - ・みんなでラジオ体操世話人
 - ・生活支援コーディネーター(社協職員)
 - ・法人後見事業担当(社協職員)
- 他、調整中

〈コーディネーター〉

帯広大谷短期大学 社会福祉科 教授 佐藤 英晶氏

15:20 市民後見人養成研修事前説明

15:30 閉会

参加
無料

日時

令和3年7月18日(日) 13:00 ~ 15:30

(申込締切：令和3年7月16日(金))

場所

音更町総合福祉センター 大集会室

(音更町大通11丁目1番地)

お知らせ

※新型コロナウイルス感染状況により、開催延期または中止となる場合がございます。

※会場では、マスク着用、手指消毒のご協力をお願いいたします。

【お申込み・お問い合わせ】

社会福祉法人 音更町社会福祉協議会

(音更町大通11丁目1番地)

TEL：0155-42-2400 FAX：0155-42-5481

ZOOMでも
参加可能!



~ zoomご参加につきまして~

ID,パスワードは申込後にお伝えします。

主催：音更町社会福祉協議会

共催：音更町

音更町社会福祉協議会 行き

FAX 0155-42-5481

〒080-0101 音更町大通 11 丁目 1 番地
音更町総合福祉センター内

住民参加の地域づくりシンポジウム

参加申込書

	氏名	性別	講演会を知ったきっかけ (○で囲む)	所属団体 勤務先等
1		男・女	広報折込チラシ・新聞 ポスター・所属団体 知人・その他	
2		男・女	広報折込チラシ・新聞 ポスター・所属団体 知人・その他	
3		男・女	広報折込チラシ・新聞 ポスター・所属団体 知人・その他	
4		男・女	広報折込チラシ・新聞 ポスター・所属団体 知人・その他	
5		男・女	広報折込チラシ・新聞 ポスター・所属団体 知人・その他	

連絡先電話番号 : _____
(zoom 参加の方) mail : _____@_____

7月16日(金)までにお申し込みください。

※「所属団体・勤務先等」につきましては、差支えなければご記入ください。

※記入欄が足りない場合はコピーしてご利用ください。

※zoom 参加希望者には、開催数日前に ID、パスワード等をお伝えするため、メールアドレスのご記入をお願いします。

※個人情報については、参加者集約を目的とし、それ以外の目的で利用することはありません。

※特別の配慮を必要とする方は、お申込み時にその旨をお申し出ください。